

平成25年度第2回印西市国際化推進懇談会 会議録

- 1 開催日時 平成25年10月15日(火) 午後2時から午後3時50分
- 2 開催場所 印西市役所附属棟2階 25会議室
- 3 出席者 紫合 治 委員(会長)、吉原 久雄 委員(副会長)、厚朴 賢正 委員、
清水 武彦 委員、押尾 駿吾 委員、梅川 理恵 委員、池田 アン 委員、
全 英愛 委員
- 4 欠席者 山口 道博 委員、大塚 貞夫 委員、川村 和伸 委員、野田 幸一 委員
- 5 事務局 堀江企画政策課長、富澤主査、河合主査補
- 6 傍聴者 なし
- 7 議 題 (1) 平成25年度上半期における事業実施状況報告について
(2) 印西市外国人市民意識調査(案)について
- 8 議事録(要点筆記)

事務局 本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。
只今より、平成25年度第2回印西市国際化推進懇談会を開催いたします。
会議に先立ちまして、委員の皆様にご説明をさせていただきます。
1点目でございますが、会議の公開と傍聴規定についてでございます。
当懇談会につきましては、印西市市民参加条例第11条第1項の規定により公開とさせていただきます。
また、会議の傍聴につきましては、同条例施行規則第12条第3項の規定に基づき傍聴要領を作成しており、要領に沿って受け付けしてまいりますのでご了承願います。
なお、本日の傍聴者は0となっております。
2点目でございますが、会議の録音及び会議録の署名についてでございます。
当懇談会の会議につきましては、会議録を作成する都合上録音させていただきます。
また、会議録の署名につきましては、本日は厚朴賢正委員にお願いいたします。
以上でございます。

事務局 それでは会議に入らせていただきます。
はじめに紫合会長よりご挨拶をお願いいたします。

【会長挨拶】

事務局 ありがとうございます。
続きまして議事に入りますが、議長を印西市国際化推進懇談会設置要綱第6条第1項の規定により会長をお願いいたします。

議 長 それでは議事の(1)平成25年度上半期における事業実施状況報告について、事務局より説明をお願いいたします。

【事務局説明】

議 長 (1)について事務局より説明がありましたが、ご意見やご質問のある方は挙手をお願いいたします

- 委員 予算の関係ですが、市ベースで考え、こういう事業にいくら必要か概算を出した方が良いと思います。予算を一本化して対前年比で何パーセント位かかるか概算した方が、無駄を省き効率の良い予算執行が考えられると思います。
- 議長 各課から予算を一本化した方が良いという意見が出た時に、財政課と協議の上回答するとなっておりますが、予算が別々の方が良い理由はありますか。
- 事務局 ご意見のとおり、一本化することで経費の節減にもつながりますし、国際化の推進をどれだけ図っていけるか前年対比もできると思います。ただ、行政の予算は教育分野ではいくら、福祉分野ではいくらと色分けし出しており、例えば教育に係る部分を多言語化した場合、教育に係る経費として予算化してまいりますので、財政上は分けた方が良いということでございます。
- 委員 在住外国人の人数等が異なりますので比較は難しいと思いますが、他市では国際化に必要な予算の割合はどれくらいですか。
- 事務局 市国際交流協会に対する補助金額を比較したことはございますが、予算の比較はございません。
- 議長 他市の予算と比較して、どういう方法が良いかを検討するというのでしょうか。
- 委員 他市と比較することで、総予算に対する国際化の予算比率が多いのか少ないのかが分かると思います。
- 委員 国際化推進の内容は各課にお任せしているのか、企画政策課から実施してもらいたいことを各課にお願いしているのか、その辺はどうでしょうか。
- 事務局 各課で国際化の推進を進めていただきたいと考えておりますので、庁内検討会議等を通して各課で取り組んでいただきたいことを要望しております。
- 委員 印西市よりも多くの外国人市民を抱えている市がどのように取り組んでいるかを把握していますか。
- 事務局 現時点では、他市が予算を一本化しているのか各課で計上しているのか等を把握しておりません。
- 委員 庁内体制を充実させるという意味で、海外経験者を職員に優先的に雇用していただきたいと意見をしましたが進んでいますか。
- 事務局 その件については人事担当へ伝えておりますが、今後も伝えてまいりたいと思っております。なお、職員には正規職員のほか任期付き職員がかなりいますが、その中には外国語に精通している方もおります。
- 委員 それも非常に良いことだと思いますが、やはり海外で様々な経験をされた方が庁内や支所にいれば、外国から来た方への対応もしやすいのではないかと思いますので、ぜひ進めたいと思います。

事務局 様々な経験をお持ちの方は多岐にわたる課題への解決能力も高いと思いますので、そのような方に来ていただければ私どもも助かりますが、あくまで採用基準がございますのでその辺をご承知置きいただきたいと思います。

事務局 自治体によっては社会人枠等を設けて採用している所もあると思いますが、印西市においては年間10人程度の採用枠の中での募集となっておりますので、海外経験者を優先的に採用するというのは難しい状況でございます。ただ、当懇談会でこのような意見が出たことを人事担当へは伝えてまいりたいと考えております。

委員 4・5ページのところで日本語教室の利用者数は45名ということですが、在住外国人の方が約1,000名いる中で非常に少ないと思います。それは開催日時の問題もあると思いますが、こちらから発信する情報がきちんとキャッチされていないのではないかと思うのです。情報提供の徹底という意味で、一度外国人市民にランダムに電話をかけ、こういう情報を送っているが知っているかどうかを調査したらどうでしょうか。今度外国人市民意識調査を行います、その回収率はどのくらいかも参考になると思います。

委員 45名が多いか少ないかは市内に住む外国人の能力を考えるべきですので、数字だけを見てどうこういうことはないと思います。

委員 45名は今年の登録ですが、たいていの人はある程度日本語ができるようになると来なくなります。仕事が忙しい人も入るので入ったり出たりが結構あります。一番困る問題は日本語教室のことをどうやって外国人に知らせるかです。広報紙に載せたりチラシを貼ったりしていますがほとんど連絡が来ません。一番多いのは友達が友達を連れてくるというパターンです。他の外国人から聞いてくるという人が多いです。本人の住所が分かりそこに送れるなら一番良いのですがそれはできません。現在、教室数を増やして夜のクラスも開催していますが、どうやって呼び込むかがいつも問題です。

委員 日本語教室は11年か12年やっていますが、現在は45名位で推移しています。クラスには初級クラスから検定を受けるクラスまでいろいろな受講生がいて入れ替えも多い状況ですので、単純に計算しても40×10の人は来ています。1,000名に対して45名というのはそれなりの数だと思います。情報をお知らせする方法としては友達関係のほか、協会のホームページやフェイスブックがありますので、関心のある方は見ていただくと良いのですが。

委員 外国人の方は、大体フェイスブックを使って友達同士で情報交換をしています。

委員 情報伝達はとても重要だと思います。10月から始まった新ホームページを見ましたが、予算と絡んでいると思うので仕方ないかもしれませんが翻訳に問題があります。この程度の翻訳で役に立つのか疑問です。

事務局 職員では3ヶ国語の訳を確認し校正することができません。要旨が伝わる内容になっているかどうかを担当課へ伝え、できるだけ改善するよう努めてまいりたいと考えております。

委員 全てを人が訳すには費用がかかりすぎるとと思いますが、防災情報など大事な部分だけでも出来上がったところを人によりチェックし意味が分かるようにしないと、無意味で無駄にお金を払うことになってしまうと思います。

- 委員 ホームページをチェックし、訳がおかしければすぐに直せるシステムがあれば良いですね。実際に確認してすぐに直せますから、何かそういう方法があると良いと思います。
- 委員 当懇談会の外国人委員の方にチェックしていただいたらどうですか。
- 事務局 行政情報には様々なジャンルがあり専門用語も多い中、ホームページの全ての情報を確認いただくというのはなかなか難しいと考えております。
- 委員 一気に変えるのは難しいと思いますが、時間をかけて少しずつ改善していけばどうですか。
- 委員 それもそうですが、大事なところだけきちんとした訳をつけ、他の部分は振り仮名付きの日本語で対応した方が良いかもしれません。意味の分からない外国語訳を出すよりは正確な情報が伝わるとと思います。
- 委員 外国語訳をストップするとか、情報を掲載する前に外国語のわかる人にチェックしていただくとかした方が良いと思います。間違っているか分からないのにとりあえず出してみようというのは読む人に対して失礼だと思います。
- 議長 誤訳が分かったらその場で修正できるようなシステムがあれば良いと思います。ただし、変なことをしない人ばかりという前提はありますが。
自動翻訳というのは30年か40年前からやっていますがほとんど改善されていません。単語変換はできるが文章変換はできないという前提でしか使うべきではないという感じがします。
- 委員 ホームページの中で内容が変わらない情報のうち重要な情報を翻訳して、最新ニュース等の毎回変わる情報については確認してから出すという方法にすれば良いと思います。
- 事務局 担当課へはこういったご意見をいただいた事を伝え、ぜひ改善していけるようにしてまいりたいと思っております。
- 議長 他に何かありますか。
- 委員 外国人のための無料相談を9時から16時まで全日オープンするということがありますが、専門の方が常駐している状態ですか。
- 事務局 市国際交流協会所属の行政書士の方に常駐していただくことになります。ただ通訳者は常駐しておりませんので、日本語の分からない相談者が来た場合はその都度対応を考えるという方法で進めてまいりたいと考えております。
- 委員 常駐していただくと行政書士の方には相当の負担になるし費用も発生しますので、全く相談者がいなければかなりのロスになります。通訳の問題もあるので予約制の方が良いと思います。行政書士と通訳者と相談者の都合の良い時間帯に実施すれば、そこだけに費用が発生し行政書士の方も束縛されないと思います。
- 事務局 これまで予約制をとっていましたが利用者がほとんどいなかったため、少しでも利用者の間口を広めるという意味で常時オープンという形をとった次第でございます。

委員 相談日時を固定せずに、相談者から相談を受けてから行政書士や通訳者と調整して相談日時を決めるという流動的な形の方が一番確実ではないかと思います。

例えば、相談者が直接窓口に来て言葉が分からない場合は、緊急性を要するもの以外はその場で対応するのではなく、行政書士や通訳者と日程を調整の上後日相談に応じるという方法で十分対応できると思います。

議長 この件については、今後は予約制をとらず相談窓口を開けておき、相談者が来たら相談を受け付け、言語等の問題が発生した場合は後日改めるということで解釈してよろしいですか。

事務局 はい。先日の外国人相談意見交換会でもありましたが、相談内容のほとんどが行政手続きに関するものであり、言葉が分からない場合は通訳の手配により担当職員で対応できることから、行政書士による相談事業に実用性があるかどうか疑義はありますが、現時点ではそのとおりでございます。

議長他に何かありますか。

議長 それでは次に、議事の（２）印西市外国人市民意識調査（案）について、事務局より説明をお願いいたします。

【事務局説明】

議長 （２）について事務局より説明がありましたが、ご意見やご質問のある方は挙手をお願いいたします

委員 印西市の今後の取り組みの基礎資料となると書いてありますが、アンケート結果は公表されますか。

事務局 市ホームページで公表したいと考えております。

委員 英語・中国語・韓国語の訳は市ホームページの自動翻訳機を使って行われますか。

事務局 予算が通った前提でお話しさせていただきますと、当懇談会の外国人委員の方をお願いしたいと考えております。

委員 中国語・韓国語というのは、印西市内に住んでいる人の多い順ということですか。

事務局 はい、印西市内で国籍の多い順になっております。

委員 例えばタイの方がいると思いますが、英語が分からない場合は答えられませんね。

事務局 同居されている家族等で日本語の分かる方がいれば、その方に読んでいただき答えていただくことも可能でございます。

委員 対象者が20歳以上というのはどういうことですか。高校生以上や18歳以上に広げても良いと思いますが。

- 委員 一番困っているのは高校に行けない子供や中学校卒業後に来日した子供だと思います。14歳までの状況はアンケートに反映されていますが、14歳から20歳までの一番困っている子供達の部分が抜けていると思います。
- 議長 20歳以上からというのは成人からということですか。
- 事務局 はい、他市のアンケート調査を見ましても、20歳以上が平均的になっておりましたのでそのように設定いたしました。特に規定はございません。
- 委員 これは1家族で1枚ということではないですね。
- 事務局 はい、個人に送りますので1家族で何人かにお答えいただく場合もございます。
- 議長 それでは対象年齢の下限を何歳にするかですね。
- 事務局 はい、何歳以上にするかで設問内容も変わってくると思います。
- 委員 設問の選択肢を見ますとある程度答えを想定して作られているようですが、設問はこういうことを聞きたいという意図があって作られていますか。
- 事務局 様々な課題がある中で、担当職員として知りたいことを主に設問に入れております。また設問に選択肢を設けるのは、答える側としては答えやすいと思いますし、統計処理をする際にもまとめやすいということがございます。
- 委員 広範囲のことを聞きたいのは分かりますが、最初の身元調査のような部分はカットしないと書く方も書きたくないという気にはなりませんか。
外国人委員の方はどうですか。
- 委員 私は答えますが、ほとんどの人は書かないと思います。
- 事務局 これにつきましては、外国人の方へ情報を届ける際にどの情報が必要かを聞くために設けております。
- 委員 聞きたいのは分かりますが、共生社会を目指す中でそれは入り込み過ぎではないかと思いません。
あと、アンケート後に結果を公表して対応策を考えていくのだと思いますが、市役所で対応できるかを考えて選択肢を設定しないと、例えば医療費が高いからといって低くできるのかということになってしまうと思います。
- 委員 これは全問回答が必須ですか。それとも答えたくない部分は答えなくて良いのですか。
- 議長 通常のアンケートは答えなければ答えなくて良いというものです。最初の「あなたのことについて」も通常のアンケートはこのようになっています。
- 委員 アンケートには記名するのですか。

- 事務局 無記名ですので、国籍がどこで何歳位の人ということしか分からないようになっております。
- 委員 5ページの相談について、どんな内容を相談したいかを追加して聞いても良いと思います。
- 委員 最後に「自由に書いてください」の欄ですが、日本語で書けない人も多いと思いますので、「母国語で」と入れた方が良いでしょう。
- 事務局 その場合、書かれた言語を職員が理解できるかという問題がございます。
- 委員 「ことばについて」のところですが、市役所で何ができますかというよりも、「日本に来る前にどれだけ日本語を勉強して来ましたか」、「日本でどういう勉強をしていますか」を聞き、後は読み書き話すができますかという程度で良いと思います。
- 議長 これは、他課からこういうことを聞いて欲しいと要望があったのですか。
- 事務局 当課で作成した設問でございます。あくまで行政サービスを提供する側の視点から作成しております。
- 委員 設問10は何か意図がありますか。
- 事務局 他市を参考にして入れております。
- 委員 先ほど他の委員からもありましたが、外国人を助けるという視点からはこの設問は不要だと思います。書く側としてはプライベートなことなので嫌な気分になるかもしれません。
- 委員 そこは選択肢の内容を変えても良いと思います。
- 事務局 参考になるご意見をたくさんいただいておりますが、この場では設問についての質問を受けさせていただき、皆様のご意見につきましては後日郵送にて依頼させていただきますのでご了承ください。
- 議長 それでは具体的な意見等については後ほどということで、他に設問への質問はありますか。
- 委員 6ページ以降から「〇は1つだけ」というような表記がなくなっていますが、いくつでも良いということですか。
- 事務局 記載漏れですのできちんと記載させていただきます。
- 委員 せっかく外国人の方に郵送するのだから、アンケートの最後の余白にでも、「広報紙への外国人コーナーの設置や市ホームページの管理等を行っているので読んでください」という主旨の文書を載せたらどうですか。
あと、「その他」の読みは「そのほか」ではなく「そのた」だと思います。
- 委員 3ページ最後に「会社の年金」とありますが、一般的には「企業年金」だと思います。

- 事務局 アンケートは外国人の方に分かりやすいやさしい日本語を使用しておりますのでこのような表記にしましたが、外国人委員の方にお聞きしますが「企業年金」の方が分かりますか。
- 委員 「会社の年金」の方が分かります。
- 委員 3ページの最後のように、ページをまたいで選択肢が書かれていると分かりづらいので統一した方が良いと思います。
- 事務局 今後追加される設問やカットされる設問等があると思いますので、そこが確定した後に見やすくレイアウトを考えてまいりたいと思います。
- 議長 先ほどの下限年齢についてですが、15歳から20歳位までの意見を聞いた方が良いのではないかということでしたが。
- 委員 4ページの「0～14歳の子どもがいる人に聞きます。」を18歳に変えて、選択肢の中に「高校に行きたくても行けない子がいる」というような項目を作った方が良いと思います。
- 事務局 この設問では中学生までを対象として選択肢を作っておりますが、それ以降の高校生も含めた形で検討してまいりたいと思います。
- 委員 下限年齢は16歳か18歳に下げた方が良いと思います。未成年とはいえ一人の独立した人間ですから自分なりの考えがあると思います。
- 議長 それでは下限年齢は何歳がよろしいでしょうか。
- 委員 アンケートの主旨は外国人の方の意見を拾い市役所が対応することですので、何歳にするか線引きが難しいと思います。
- 事務局 こちらとしましては、自立できる年齢をベースに18歳以上が妥当かと考えております。
- 委員 18歳未満のお子さんも意見がいえるよう「18歳未満のお子さんがある場合も、最後のページの自由欄に自由に意見を書いてください」というような記載を追加しても良いと思います。
- 議長 アンケートの初めに「満20歳以上の外国人の方全員に送っています。」となっておりますが、直すということではよろしいですか。
- 事務局 はい、18歳以上に修正したいと思います。
- 委員 アンケートの最後に、印西市の印象や満足度を聞いても良いと思います。
- 事務局 後ほどご意見につきましては取りまとめさせていただきますのでよろしくお願いいたします。ただ、全てのご意見を取り入れさせていただくことは難しいということもご了承くださいと思います。
- 議長 他に何かありますか。

後ほど事務局から意見についてということで依頼があると思いますので、対応の程よろしくをお願いします。

議 長 それでは本日の議事については全て終わりましたので、進行を事務局にお返しします。

事務局 ありがとうございました。
それでは以上をもちまして、平成25年度第2回印西市国際化推進懇談会を終了させていただきます。
本日はお疲れ様でございました。

平成25年10月15日に行われた印西市国際化推進懇談会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

平成25年10月31日

会議録署名委員 厚村賢正